

バン格拉デシュ ダッカ都市鉄道（MRT）6号線 開業

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）は、2018年よりバングラデシュの首都ダッカ市で同国初のメトロとなるダッカMRT（Mass Rapid Transit）6号線事業に参画しておりますが、2022年12月28日、全20kmのうち、Uttara North 駅から Agargaon 駅の9駅を結ぶ11.7kmの区間が開業しました。

本件では3システム（信号・AFC^{※1}・PSD^{※2}）を納入しました。信号システムは、無線通信で列車を制御および防護するSPARCS（当社製CBTC）が採用されており、ATO運転^{※3}を実現しています。SPARCSは、本件で6例目の運用実績になります。AFCシステムには日本で広く普及している非接触ICカードの通信規格である“NFC^{※4}”が採用されています。PSDシステムは高さ1,300mm・開口幅2,100mmの腰高式が採用され、強みとする信号システムに加えて、ダッカ市民が安全に鉄道を利用できる環境を幅広く提供しています。

ダッカは人口2,000万人を有するアジアのメガシティの1つですが、急激な経済成長にインフラ整備が追いついておらず、慢性的な交通渋滞・大気汚染が社会課題となっております。

当社が90年の歴史の中で築いてきた「安全と信頼」の技術を導入することで、バングラデシュの社会課題解決に貢献してまいります。

- ※1 AFC（Automatic Fare Collection）…自動料金収受システム、 ※2 PSD（Platform Screen Door）…ホームドア
※3 ATO（Automatic Train Operation）…運転士が出発を指示するだけで車両の加速・減速・停止を自動で行うシステム。
※4 NFC（Near Field Communication）…非接触ICカードの通信および機器間相互通信を行うための近距離無線通信技術



当社納入機器

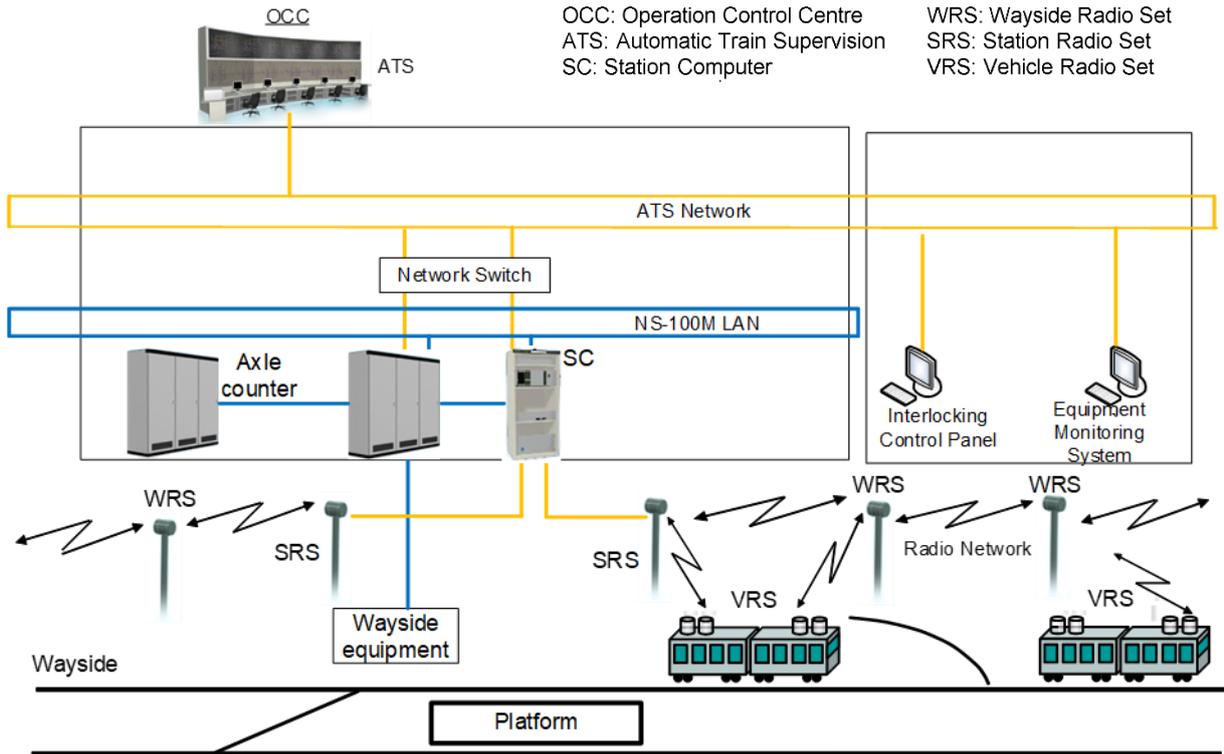
問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp

(参考資料1) SPARCSのシステム構成図



CBTC :

Communication Based Train Control の略。軌道回路等の閉塞によらず、無線により地上車上間で大容量データを通信し、列車を制御および防護するシステム。

一般的なシステムと比較し、約70%のCO2削減が期待できる。

(参考資料2) SPARCSの納入実績

